

脳と摂食嚥下のクロストーク

～健康長寿社会実現に向けた未来への道標～

共催：日本学術会議 歯学委員会 臨床系歯学分科会，病態系歯学系分科会，基礎系歯学分科会
公益社団法人日本補綴歯科学会

後援：日本生命科学アカデミー

令和8年

6月21日(日) 13:50 ~ 15:50

会場

ウインクあいち

(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

一般参加 無料 (事前登録不要) 学術大会のその他プログラムへの参加は登録が必要です

口腔機能の低下は、低栄養のみならず、生きる意欲やQOLの低下、さらには心身機能全体の減弱を引き起こします。しかし、その制御に関わる「脳と摂食嚥下」の関連メカニズム(クロストーク)は、いまだ多くの謎に包まれています。本シンポジウムでは、基礎・臨床の最前線で活躍する研究者を招聘し、最新の知見を共有するとともに、未解明な課題を整理し、超高齢社会における健康長寿実現への道標となる方策について議論を深めます。

開会挨拶

村上 伸也 (日本学術会議第二部会員/大阪大学名誉教授)
大久保 力廣 (公益社団法人日本補綴歯科学会理事長/鶴見大学歯学部歯学科口腔リハビリテーション補綴学講座教授)

講演

座長：馬場 一美 (日本学術会議連携会員/昭和医科大学教授)
松山 美和 (日本学術会議連携会員/徳島大学大学院医歯薬学研究部教授)

『認知機能と口腔機能の相関に関する探索的研究 (ECCO) プロジェクト』

笛木 賢治 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科教授)

『高齢者の歯の喪失はアルツハイマー病の起因となる？』

後藤 多津子 (日本学術会議連携会員/東京歯科大学歯科放射線学講座教授)

『認知症の口腔機能と食行動』

池田 学 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室教授)

総合討論

進行：馬場 一美 (日本学術会議連携会員/昭和医科大学教授)
森山 啓司 (日本学術会議第二部会員/東京科学大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野教授)

討論者：笛木 賢治 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科教授)
後藤 多津子 (日本学術会議連携会員/東京歯科大学歯科放射線学講座教授)
池田 学 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室教授)
松山 美和 (日本学術会議連携会員/徳島大学大学院医歯薬学研究部教授)

閉会挨拶

樋田 京子 (日本学術会議第二部会員/北海道大学大学院歯学研究院口腔病態学分野血管生物分子病理学教室教授)

コーディネーター：江草 宏 (日本学術会議連携会員/東北大学大学院歯学研究科教授)

問い合わせ：公益社団法人日本補綴歯科学会第135回学術大会 運営事務局 E-mail: jps135@kwcs.jp